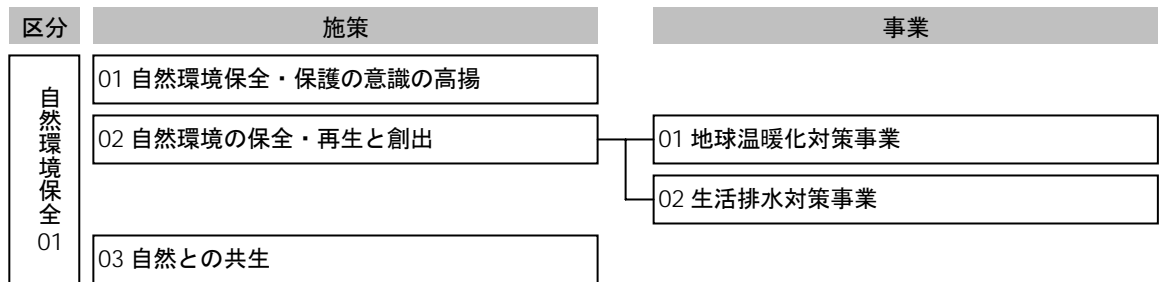


1 自然環境保全

施策の基本的考え方

- 自然を大切にする意識の高揚と自然保護活動を促進します。
- うるおいを感じる自然環境の保全・創出に努めます。
- 自然と人とが共生できる土地利用を推進します。

施策・事業の体系



02 自然環境の保全・再生と創出

■地球温暖化対策事業 【事業No.03010201】	担当部課係名	環境部	環境保全課	ダイヤル	241-4312
			環境保全係		

事業概要

- 市民、事業者及び行政が協働し、地球温暖化の原因となる温室効果ガスの排出量の削減を図る。

現況と課題

- 地球温暖化問題は、その名のとおり地球規模におけるすべての人類が直面している問題であるが、その対策には、市民一人ひとりの意識改革の浸透による、足元からの地道な排出量削減の積み重ねが、非常に重要とされる。

今後の事業展開

- 甲府市地球温暖化対策地域協議会による省エネ対策等の普及、環境教育の推進。
- 児童・園児を対象とした環境教育の充実・拡大。
- 一事業者として、庁内における率先的な対策の推進。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H20~22)
			平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	
二酸化炭素排出量削減率 (%)	—	△5.7	△7.0	△8.2	△10.0	△10.0
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H20~22)
	平成 19 年度		平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	
	7,561		4,682	4,682	4,682	14,046

■生活排水対策事業 【事業No.03010202】	担当部課係名	環境部	環境保全課	ダイヤル	241-4312
			公害対策係		

事業概要

- 公共用水等の豊富な水の流れが保たれ、健全な動植物が息する自然環境の保全を視野に入れ、水質状況検査、浄化槽維持管理指導、浄化槽設置補助及び市民への啓発事業により、更なる公共用水域の水質改善を図る。

現況と課題

- 公共用水域の汚濁の原因となっている浄化槽排水及び生活雑排水による負荷の低減を図る為、浄化槽設置者に対し3つの義務（保守点検・清掃・水質検査）についての指導を強化していく必要がある。

今後の事業展開

- 公共用水域の水質は本事業により、改善傾向を示しているが、生活排水対策の継続的实施に不可欠な市民、事業者が、行政と協働で継続して実施していくことが必要である。今後は、甲府市北部の森林地域、そして地下水も含めた、甲府市全体の「水の循環」を視野に入れた取組を行っていく。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H20~22)
			平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	
環境基準値の達成 (mg/l)	6.8	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H20~22)
	平成 19 年度		平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	
	15,448		15,187	15,004	15,004	45,195

2 公園・緑地緑化の推進

施策の基本的考え方

- 都市環境の改善や市民のレクリエーション需要に応える都市公園・河川敷緑地等の整備に努めます。
- 健康で文化的な市民生活のために、緑地の保全及び既設公園や動物園の充実に努めます。
- 公共施設及び地域の緑化を推進し、緑豊かな明るい住みよい環境づくりに努めます。
- 市街化区域内やその周辺に広がる農地の保全・活用を図り、緑地の保全に努めます。

施策・事業の体系

区分	施策	事業
公園・緑地緑化の推進 02	01 公園・緑地の創出	
	02 公園・緑地の保全	
	03 緑化の推進	01 みどり豊かなまちづくり基金事業
	04 農地の保全・活用	

03 緑化の推進

■みどり豊かなまちづくり基金事業 【事業No.03020301】	担当部課係名	都市建設部	公園緑地課	ダイヤル	223-6101
			公園緑地係		

事業概要

- 緑の織りなすゆとりあるまちづくりや花のあるまちづくりの推進を図る。

現況と課題

- 自治会や市民団体等に花を供給することで、当該団体等による植栽や維持管理は行われるが、自らが種を蒔いて育てていくところまでは、受け入れられていない。また、特色ある花のまちづくりを行うにあたり、地域要望の品種を取り入れると多種になり、圃場では対応が困難である。

今後の事業展開

- 市民緑化教室の開催や生けがき設置等の助成制度の普及啓発を通して、家庭や地域の公共空間の緑化推進を行う。特に落合圃場を活用し、自治会や市民団体等に花苗生産の協力要請を行い、市民と協働による花のあるまちづくりを推進する。
また、中心市街地活性化事業の一つとして、ポケットパークやフラワーポットを設置し、商店街との協働によるまちなかの潤い空間を創出する。

成果指標	実績値		見込み値			目標値			目標値合計 (H20~22)
	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	
花いっぱい緑いっぱい運動の 推進として花の供給数(株)	105,725	110,000	112,000	114,000	116,000				342,000
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)						計画額合計 (H20~22)
	平成 19 年度		平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度				
	11,181		11,977	11,977	11,977				35,931

3 景観形成

施策の基本的考え方

- 都市環境の美化を推進し、公共施設の美観の向上や広告物等の景観への調和に努めます。
- 魅力的な都市景観の誘導に努めます。
- 緑地や自然景観の保全に努めます。
- 市民参加による景観形成活動を促進し、住宅地の良好な景観の確保に努めます。

施策・事業の体系

区分	施策	事業
景観形成 03	01 総合的な景観形成の推進	
	02 都市景観の形成	01 みどり豊かなまちづくり基金事業 <small>(再掲)</small>
	03 自然景観の保全・形成	
	04 市民参加の景観づくり	

02 都市景観の形成

■みどり豊かなまちづくり基金事業 【事業No.03030201←No.03020301】再掲	担当部課係名	都市建設部	公園緑地課	ダイヤル	223- 6101
			公園緑地係		

4 住宅・住環境・定住促進

施策の基本的考え方

- 中心市街地の活性化と魅力あるまちづくりに努めます。
- 既設公営住宅の修繕及び建替えの計画的推進に努めます。
- 開発許可制度などにより、良好な居住環境の誘導に努めます。
- 融資制度や助成制度などの活用により、市内への定住に努めます。
- 住宅耐震化支援制度により建築物の安全性の確保に努めます。

施策・事業の体系

区分	施策	事業
住宅・住環境・定住促進 04	01 まちなか居住の再生	01 まちなか健やか事業 (再掲)
		02 中心市街地商業等活性化事業 (再掲)
		03 甲府駅周辺土地区画整理事業 (再掲)
		04 甲府駅周辺拠点形成事業 (再掲)
		05 紅梅地区市街地再開発事業 (再掲)
		06 まちなか回遊道路整備事業 (再掲)
		07 都市計画道路整備検討事業 (再掲)
		08 (仮称) 市民まちづくり会議運営事業 (再掲)
	02 公営住宅ストックの有効活用	
	03 良好な居住環境の誘導	01 アスベスト飛散防止対策事業
04 市内への定住促進	01 家賃助成事業	
05 建築物の安全性の確保	01 木造住宅耐震化支援事業	

01 まちなか居住の再生

■まちなか健やか事業 【事業No.03040101←01050301】再掲	担当部課係名	福祉部	健康衛生課 保健係	ダイヤルイン	237-2586
■中心市街地商業等活性化事業 【事業No.03040102←04010201】再掲	担当部課係名	産業部	商工振興課 商工振興係	ダイヤルイン	237-5693
■甲府駅周辺土地区画整理事業 【事業No.03040103←05010101】再掲	担当部課係名	都市建設部	甲府駅周辺土地区画整理課 換地係・補償係・工事係	ダイヤルイン	230-1029
■甲府駅周辺拠点形成事業 【事業No.03040104←05010102】再掲	担当部課係名	都市建設部	甲府駅周辺拠点整備課 整備係、工事係	ダイヤルイン	230-1029
■紅梅地区市街地再開発事業 【事業No.03040105←05010301】再掲	担当部課係名	都市建設部	都市計画課 開発指導係	ダイヤルイン	237-5829
■まちなか回遊道路整備事業 【事業No.03040106←05010302】再掲	担当部課係名	都市建設部	道路河川課 道路係	ダイヤルイン	237-5843
■都市計画道路整備検討事業 【事業No.03040107←05040101】再掲	担当部課係名	都市建設部	都市計画課 計画係	ダイヤルイン	237-5814
■（仮称）市民まちづくり会議運営事業 【事業No.03040108←06020102】再掲	担当部課係名	企画部	中心市街地活性化担当	ダイヤルイン	237-1173

03 良好な居住環境の誘導

■アスベスト飛散防止対策事業 【事業No.03040301】	担当部課係名	都市建設部	建築指導課 建築指導係	ダイヤルイン	237-5828
-----------------------------------	--------	-------	----------------	--------	----------

事業概要

- この事業は、多くの者が利用する民間建築物を対象に、吹付け建材のアスベスト含有の有無に係る調査及び吹付けアスベスト等の除去、封じ込め、囲い込みに係る費用の一部を民間事業者に補助することにより、アスベスト等の飛散による市民の健康被害を防止し、その生命及び身体の保護を図るものである。

現況と課題

- 現在、吹付けアスベスト等が存在又はその疑いのある対象建築物は、平成17年度調査等により複数存在することが判明している。しかし、吹付けアスベスト除去等に係る事業費は多額であり、自己負担も大きい。このような中、民間事業者に対する啓発活動により、アスベスト対策の必要性への認識や意識を高めることが今後の課題である。

今後の事業展開

- 既に建築指導課に開設されているアスベスト相談窓口を更に充実させるとともに、調査及び除去等に係る補助制度創設について甲府市広報及びホームページ等を利用して広報活動を行う。また、平成17年度吹付けアスベスト実態調査を基に、その存在が明白な建築物に対する除去等の指導助言を行い、事業の促進を図る。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値合計 (H20～22)
			平成18年度	平成19年度	平成20年度	
① 調査費用の補助件数						
② 除去等費用の補助件数 (件)	—	—	① 8 ② 4	① 6 ② 4	① 6 ② 4	① 20 ② 12
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H20～22)
	平成19年度		平成20年度	平成21年度	平成22年度	
	—		10,000	10,000	10,000	

04 市内への定住促進

■家賃助成事業 【事業No.03040401】	担当部課係名	都市建設部	住宅課	ダイヤル	237-5812
			住宅係		

事業概要

- 市内の民間賃貸住宅に居住する入籍後1年以内の新婚世帯に対して家賃助成を行い、若年層の市内定住を図る。
(支給要件：夫婦いずれも40歳未満、世帯収入500万円以下、市民税・家賃の滞納がないこと)

現況と課題

- 若年層の定住を促進するため、所得制限の緩和等制度利用拡大に努めてきたが、平成17年度に実施した利用者アンケート調査結果の検証及び外部評価委員会の意見を参考にすなかで、本制度が人口増加に寄与しているとはいえないとのことを踏まえ、家賃助成の申込みは、平成19年度末をもって終了する。

今後の事業展開

- 平成20年度から22年度までは、既に申込みのある者のうちの更新者に対して家賃助成金の交付を行う。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値合計 (H20~22)
			平成18年度	平成19年度	平成20年度	
家賃助成支給件数 (件)	682	730	532	337	173	1,042
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H20~22)
	平成19年度		平成20年度	平成21年度	平成22年度	
		60,030	55,770	31,200	10,680	97,650

05 建築物の安全性の確保

■木造住宅耐震化支援事業 【事業No.03040501】	担当部課係名	都市建設部	建築指導課	ダイヤル	237-5828
			建築指導係		

事業概要

- 大規模地震による木造住宅の倒壊から、市民の生命及び財産等を保護すると共に、避難路及び緊急輸送路等の確保による災害拡大の抑制を目的として、地震に強い安心で安全なまちづくりを推進する。

現況と課題

- 大規模地震の発生が懸念されており、建築物の耐震化率*の向上が急がれている。本市においては、無料耐震診断から耐震改修費の補助までの一貫した支援体制が整った。しかし、耐震改修には多額の自己資金が必要となることもあり、申込みは伸び悩んでいる。

今後の事業展開

- 甲府市耐震改修促進計画に基づき、平成27年度までに木造住宅の耐震化率を90%とする目標を設定した。この目標に向け、「耐震相談窓口」、「出張相談窓口」の開設や広報などの広報活動を行っていきとともに、直接市民への啓発や知識の普及活動を行い、実効性のある木造住宅の耐震化を進めていく。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値合計 (H20~22)
			平成18年度	平成19年度	平成20年度	
① 耐震診断戸数						
② 耐震改修費の補助戸数	① 120 ② 8	① 120 ② 16	① 60 ② 18	① 60 ② 18	① 60 ② 18	① 180 ② 54
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H20~22)
	平成19年度		平成20年度	平成21年度	平成22年度	
		13,200	17,400	17,400	17,400	52,200

5 上水道

施策の基本的考え方

- 健全財政の確立、効率化の推進、資産の効率的活用、情報化の推進に努めます。
- 施設整備・拡充、有効率の向上、経年施設の改良、地図情報管理システム*の充実に努めます。
- 水源保護・水質保全の対策、水質管理体制の強化に努めます。
- 出水不良地域給水対策、災害対策の対応に努めます。

施策・事業の体系

区分	施策	事業
上水道 05	01 経営基盤の強化	
	02 維持管理体制の充実	
	03 水源保護と水質保全対策の推進	
	04 ライフラインの確保	

6 下水道

施策の基本的考え方

- 処理区域の拡大、施設の計画的整備に努めます。
- 汚水管渠及び雨水渠の維持管理体制の確立に努めます。
- 下水道のPRと未接続世帯の接続指導強化・促進に努めます。
- 経営の効率化の推進、施設の有効利用、使用料体系の確立、補助制度の拡充・促進に努めます。
- 災害時復旧体制の確立に努めます。
- 資源の回収・エネルギーの再生に努めます。

施策・事業の体系

区分	施策	事業
下水道 06	01 下水道の整備	
	02 維持管理体制の確立	
	03 水洗化の促進	
	04 経営の効率化と健全化	
	05 ライフラインの確保	
	06 下水汚泥の有効利用	

7 河川・水路

施策の基本的考え方

- 一級河川の改修促進に努めます。
- 計画的な整備によって浸水や冠水の防止に努めます。
- 良好な水辺環境形成に向けた河川敷整備に努めます。
- 河川美化に向けた啓発に努めます。
- 水路等の機能確保と財産の適切な管理に努めます。

施策・事業の体系

区分	施策	事業
河川・水路 07	01 河川の改修	01 一般河川改修事業
	02 浸水地域の解消	
	03 水辺空間の保全・整備	
	04 河川美化・浄化の推進	
	05 水路等の維持・管理	

02 河川の改修

■一般河川改修事業 【事業No.03070101】	担当部課係名	都市建設部	道路河川課	ダイヤル	237-5842
			河川係		

事業概要

- 普通河川、生活関連水路の改修整備を行い、住民の生活環境の向上及び浸水被害から財産保全を図る。

現況と課題

- 市内一級河川の改修の遅れにより、内水の排除を阻害している状況があるので、管理者である県に計画的な改修を求める。

今後の事業展開

- 今後も継続して事業推進を図る。市内における一級河川の早期改修促進を管理者である山梨県に強く働きかけるとともに、早期に改修事業が推進できるよう本市としても積極的に協力を行う。
- 普通河川、生活関連水路の整備については、基幹河川の改修をはじめとして、市民生活に密着した水路整備を行う。

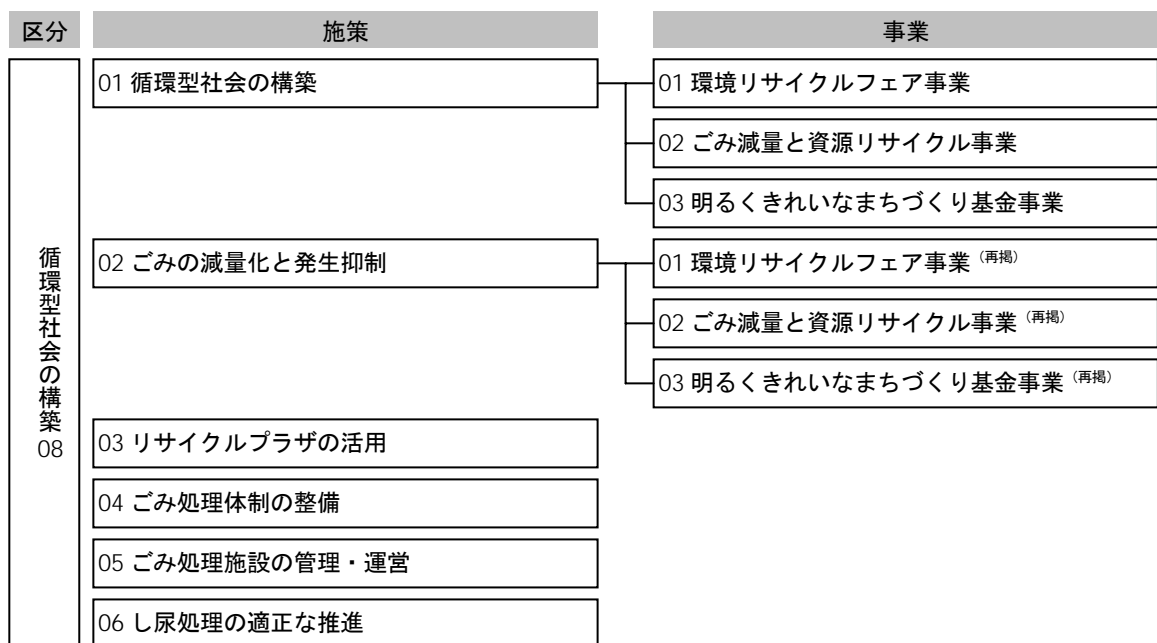
成果指標	実績値		見込み値		目標値		目標値 (H20~22)
	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成22年度	
河川改修実施率(%) (年度施工延長/年度目標延長)	146	100	100	100	100	100	100
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)				計画額合計 (H20~22)
	平成19年度		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成22年度	
	90,191		65,043	65,043	65,043	65,043	195,129

8 循環型社会の構築

施策の基本的考え方

- 分別回収の推進とリサイクル化（再資源化）の推進を図ります。
- ごみ減量化の啓発活動と新たな回収システムの構築に努めます。
- 市民意識の高揚を図るため、環境に関する情報発信に努めます。
- 次期ごみ処理施設の建設推進を図ります。
- 処理施設の適正管理に努めます。
- 収集体制の充実と処理施設の適正管理に努めます。

施策・事業の体系



01 循環型社会の構築

■環境リサイクルフェア事業 【事業No.03080101】	担当部課係名	環境部	環境保全課	ガイムン	241-4312
			環境保全係		

事業概要

- 環境問題に関する各種情報提供や体験学習等を実施し、環境問題についての市民の理解と意識啓発を図る。

現況と課題

- 来場者数の増加に伴い、来場者用駐車場の確保などの課題を検討する必要がある。

今後の事業展開

- 子どもをターゲットとして、環境問題をわかりやすく取り扱ったイベントを実施するほか、大人に対しても、地球温暖化問題など、理解しやすい情報提供に努めていく。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値合計 (H20~22)
			平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	
来場者数 (人)	5,500	8,500	8,000	8,000	8,000	24,000
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H20~22)
	平成 19 年度		平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	
	1,000		1,000	1,000	1,000	

■ごみ減量と資源リサイクル事業 【事業No.03080102】	担当部課係名	環境部	減量課	ガイムン	241-4327
			減量係		

事業概要

- 地球環境に配慮した施策の更なる推進により分別排出の一層の徹底を図るとともに、甲府・峡東地域循環型社会形成推進地域計画に基づく減量目標達成のための取り組みを展開していく。

現況と課題

- ごみ減量化を目的とした「ごみ有料化」のあり方
- 市民にとって、より排出しやすい効率的な回収システムの構築
- 廃棄物の発生抑制に向けた、拡大生産者責任の原則の明確化

今後の事業展開

- 持続可能な資源循環型社会の構築に向けては、行政・市民・事業者が各々の責任と役割を果たす中で、円滑に廃棄物の発生抑制、再利用、再資源化の促進可能な環境整備に努めることが大切である。その意味からも、ミックスペーパー*回収事業や有価物・資源物回収事業などの実践的業務やごみへらし隊などによる市民意識の向上を図るための啓発事業といった、ごみ減量化・資源化に向けた総合的な施策を実施している本事業は極めて必要性が高く、将来に亘ってより一層の拡大を図っていくことが必要である。
- 費用対効果を検証する中で、市民にとってより排出し易い効率的な回収方法を構築していく。
- 分別品目を拡大していきながら、より一層のごみ減量と資源リサイクルの推進に努める。
- 啓発、指導業務を更に充実強化する中で、市民意識及び事業者意識の向上を図る。
- 有料化を含めたごみ減量施策の検討を甲府市廃棄物減量等推進審議会等と協議していく。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値合計 (H20~22)
			平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	
ごみへらし隊等の参加者人数 (人)	6,045	7,000	7,000	7,000	7,000	21,000
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H20~22)
	平成 19 年度		平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	
	327,442		327,340	319,355	319,355	

■明るくきれいなまちづくり基金事業 【事業No.03080103】	担当部課係名	環境部	減量課	ダイヤル	241-4327
			減量係		

事業概要

- 甲府市リサイクル推進員連絡協議会*と連携し、ごみ減量と資源リサイクルの推進を図る。

現況と課題

- リサイクル推進員を中心とした自治会と行政が密接に連携する中で、ごみ減量・リサイクルの啓発活動や適正排出の指導等の推進をより一層進めていく必要がある。

今後の事業展開

- より一層のごみ減量と資源リサイクルを推進するため、リサイクル推進員連絡協議会を通じ、引き続き市民に対して分別排出の徹底・指導を行い、地域住民のごみ減量と分別意識の高揚に努める。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値合計 (H20~22)
	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	
—	—	—	—	—	—	—
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H20~22)
	平成19年度		平成20年度	平成21年度	平成22年度	
	5,200		5,200	5,200	5,200	

02 ごみの減量化と発生抑制

■環境リサイクルフェア事業 【事業No.03080201←03080101】再掲	担当部課係名	環境部	環境保全課	ダイヤル	241-4312
			環境保全係		

■ごみ減量と資源リサイクル事業 【事業No.03080202←03080102】再掲	担当部課係名	環境部	減量課	ダイヤル	241-4327
			減量係		

■明るくきれいなまちづくり基金事業 【事業No.03080203←03080103】再掲	担当部課係名	環境部	減量課	ダイヤル	241-4327
			減量係		

9 環境保全

施策の基本的考え方

- 市民参加による河川清掃、不法投棄対策への取り組み等の環境美化活動の推進に努めます。
- 環境基本計画*を推進し、地域からの地球環境保全や環境教育の充実、新エネルギー対策の推進に努めます。
- 特例市*の権限を生かした、公害防止体制の充実や発生源監視体制の充実、苦情処理体制の充実に努めます。
- 環境衛生として、消毒機の貸出、飼い犬・野犬対策の指導・徹底に努めます。

施策・事業の体系

区分	施策	事業
環境保全 09	01 環境美化	
	02 地球環境の保全	01 ごみ減量と資源リサイクル事業 (再掲)
	03 公害防止対策	
	04 快適環境の保全	

02 地球環境の保全

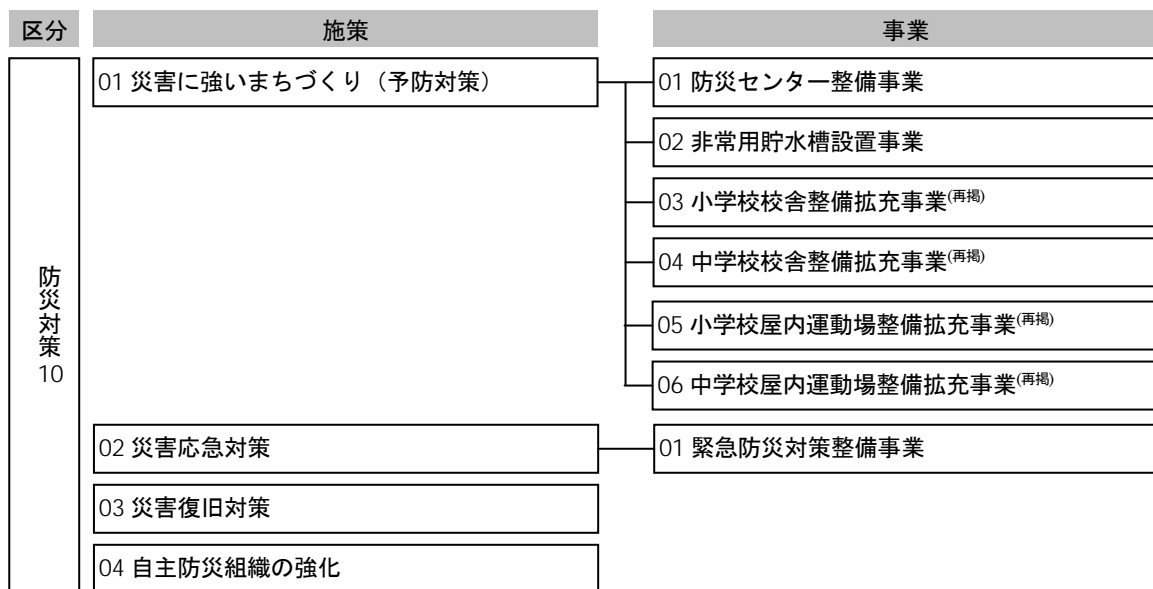
■ごみ減量と資源リサイクル事業 【事業No.03090201←03080102】再掲	担当部課係名	環境部	減量課	ダイヤル	241- 4327
			減量係		

10 防災対策

施策の基本的考え方

- 地域防災計画の充実、建物等の耐震化・不燃化の啓発促進、避難路・避難場所の確保、急傾斜地等危険地対策の推進、情報システムの充実、緊急医療体制の確立、防災倉庫の整備充実、非常用貯水槽の整備充実、災害ボランティアの育成に努めます。
- 応急物資の確保、通信手段の確保、迅速かつ適切な救助・救急、医療及び消火活動、ライフライン*・交通施設等の応急復旧に努めます。
- ライフライン*の復旧対策、被災者の自立支援に努めます。
- 自主防災組織*の強化、防災意識の高揚に努めます。

施策・事業の体系



01 災害に強いまちづくり（予防対策）

■防災センター整備事業 【事業No.03100101】	担当部課係名	企画部	防災対策課	ダイヤルイン	237-5331
			地域防災係		

事業概要

- 災害対策本部機能、防災行政用無線設備（デジタル無線に更新）、資機材等備蓄機能等の防災センター*機能を新庁舎に盛り込む。また、防災センター機能のひとつとして先行整備した、防災情報システムを用いて災害時情報の収集及び発信を行う

現況と課題

- 新庁舎建設に併せて防災行政用無線をデジタル化して更新することとするが、本庁舎の現設備は設置後 26 年目を迎え、補助金上の耐用年数 9 年を大きく経過し、老朽化しているため、早期の更新への取り組みが課題である。（旧中道町、旧上九一色村の無線設備は共に平成 2 年に更新している。）

今後の事業展開

- 防災センター整備については、他都市の整備状況等を調査しながら、建設に向けて機能、規模等の調査・研究等を行ない新庁舎に盛り込む。また、防災行政用無線についても、デジタル化に向けて調査・設計委託を行ない、新庁舎建設に併せて更新する。

防災情報システムは小田原市との協議を行う中で、運用を通じて検証を行い、必要があればバージョンアップを行う。また、小田原市以外にも防災情報システム導入都市を増やすことによるバックアップ体制の多重化を図る。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H20～22)
			平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	
防災センター機能の整備 (%)	5	5	5	10	25	25
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H20～22)
	平成 19 年度		平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	
	1,106		1,225	18,742	301,092	321,059

■非常用貯水槽設置事業 【事業No.03100102】	担当部課係名	企画部	防災対策課	ダイヤルイン	237-5331
			地域防災係		

事業概要

- 災害時における住民への飲料水の確保。

現況と課題

- 学校用地の形状、校舎の配置、進入路の位置により、貯水槽本体の搬入ができない学校がある。現在、学校校舎の耐震化事業に日程を合わせて設置することとしている。

今後の事業展開

- 災害時のライフライン*の中でも重要な飲料水確保対策の根幹を成す設備として市民の関心も高く、計画達成に向けて着実に進めていく。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H20～22)
			平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	
防災計画に対する非常用貯水槽の設置率(%)	85	89	93	96	100	100
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H20～22)
	平成 19 年度		平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	
	63,100		58,000	58,000	68,120	184,120

■小学校校舎整備拡充事業 【事業No.03100103←No.02010603】再掲	担当部課係名	都市建設部	建築営繕課 建築係	ダイヤル	237-5862
■中学校校舎整備拡充事業 【事業No.03100104←No.02010604】再掲	担当部課係名	都市建設部	建築営繕課 建築係	ダイヤル	237-5862
■小学校屋内運動場整備拡充事業 【事業No.03100105←No.02010605】再掲	担当部課係名	都市建設部	建築営繕課 建築係	ダイヤル	237-5862
■中学校屋内運動場整備拡充事業 【事業No.03100106←No.02010606】再掲	担当部課係名	都市建設部	建築営繕課 建築係	ダイヤル	237-5862

02 災害応急対策

■緊急防災対策整備事業 【事業No.03100201】	担当部課係名	企画部	防災対策課 指導係	ダイヤル	237-5331
---------------------------------------	--------	-----	--------------	------	----------

事業概要

- 住民が行う初期消火活動に必要な消火栓器具格納箱一式を年次的に設置する。
- 災害時における罹災者への食料等を確保する。
- 災害時の初動体制確立と地域防災力強化のため、避難所に整備すべき資機材の適正配置と充実を図る。

現況と課題

- 消火栓器具格納箱等の資機材点検を定期的に行っているが、老朽化や破損等により維持管理費は増加している。
また、自主防災組織*による自主点検により、破損・汚損等の連絡を受けたものについて、現地確認のうえ改修又は交換をしている。
- 自主防災組織の活動については地域住民の意識に差があるため、防災リーダーの育成、避難所の運営や資機材の取扱いについて、今後さらに指導が必要である。

今後の事業展開

- 消火栓器具格納箱については、設置率の低い地区及び自治会を優先して設置して行く。
- 防災資機材、備蓄用非常食については、地域の特性及び居住者数等を考慮し必要な品目・数量を常に見直し、今後も年次的かつ計画的に整備・配置する。
- 災害時に必要とされる備蓄品については、地区及び単位自治会における「自主防災活動調査票」の調査結果を踏まえて、必要な整備を図って行く。また、地域防災拠点整備と共に災害時に自主防災活動が即時に開始できるよう、避難所等へ配置する資機材の見直しを常に行い可能な限り配置して行く。
- 自主防災組織の育成・強化については、各種訓練（単位自治会・班・組等）や防災器具取扱い等を自発的に行なえるよう、地区及び自治会の防災リーダー育成のための訓練や講習会を開催する。また、小規模訓練や図上訓練の集大成が地区会場防災訓練（総合防災訓練）であることを明確にする。

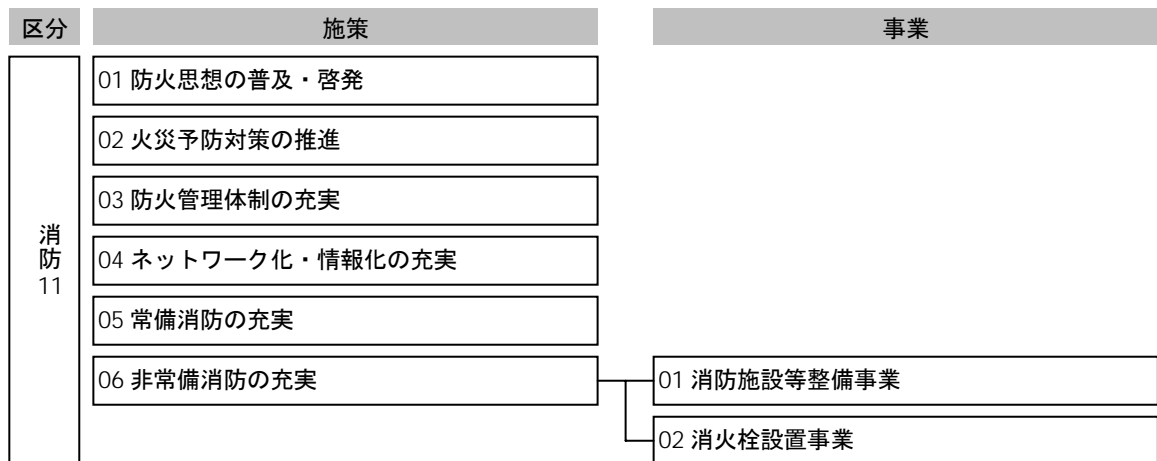
成果指標	実績値		見込み値			目標値		
	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	目標値 (H20～22)		
消火栓器具格納箱の設置率 (%)	52	53	54	54	55	55		
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H20～22)		
	平成 19 年度		平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度			
	24,775		24,188	22,280	22,280	68,748		

1 1 消防

施策の基本的考え方

- 火災予防に向けての防火思想の啓発に努めます。
- 予防・査察体制の強化、危険物等の安全指導の充実に努めます。また、住宅火災予防対策として、住宅用火災警報器等の設置推進に努めます。
- 事業所などの防火管理体制の充実に向けた指導に努めます。
- 高機能消防指令センターを活用し、住民の安心・安全に努めます。また、庁内ネットワークを活用し、効率的な消防行政の推進に努めます。
- 消防施設及び装備の強化に努めます。
- 消防団車両及び資機材の整備・充実、消防団員の確保と資質向上、耐震性消防水利施設の整備に努めます。

施策・事業の体系



06 非常備消防の充実

■消防施設等整備事業 【事業No.03110601】	担当部課係名	消防本部	警防課・人事課	ダイヤル	222-1249
			警防係・消防団係		

事業概要

- 災害時に有効に活用できるよう各分団に配備している積載車及び小型動力ポンプを整備するとともに、耐震性貯水槽を設置し、市民の生命・身体及び財産を守り、被害を最小限に抑えることを目的とする。

現況と課題

- 合併により、積載車及び小型動力ポンプ各8台が増加したため、さらに更新サイクルが長期化するため、更新台数を増加する必要がある。また、耐震性貯水槽の設置にあたり、設置場所の確保が年々困難になってきている。

今後の事業展開

- 各分団に配備している小型動力ポンプ積載車及び小型動力ポンプを計画的に更新するとともに、常時良好に運用できるよう点検、整備を図る。
- 災害発生時においても防火用水が確保できるよう、耐震性貯水槽は計画に基づいて進めていくが、現計画終了までに、市有地以外でも貯水槽を設置できるよう、貯水槽の種類（埋設型、地上設置型）の検討と共に、他の公共機関への設置や用地を取得しての設置などを検討する。

成果指標	実績値		見込み値		目標値		目標値 (H20~22)
	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度		
耐震性貯水槽設置進捗率 (設置延べ数/設置計画数) (%)	91.6	93.5	96.2	98.1	100		100
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)				計画額合計 (H20~22)
	平成19年度		平成20年度	平成21年度	平成22年度		
	42,011		48,617	48,617	48,617	145,851	

■消火栓設置事業 【事業No.03110602】	担当部課係名	消防本部	警防課	ダイヤル	222-1269
			警防係		

事業概要

- 市街地及び周辺地域に消火栓を設置することにより、火災発生時における住民により初期消火活動が容易になり、消防隊の水利部署により有効に火災防御ができる。

現況と課題

- 市街化区域の拡大により、急速に新興住宅地が広がっているために、早急に設置が必要とされる箇所が50箇所ある。

今後の事業展開

- 早急に設置が必要とされる50箇所について、平成20年度より3年間で整備していく。

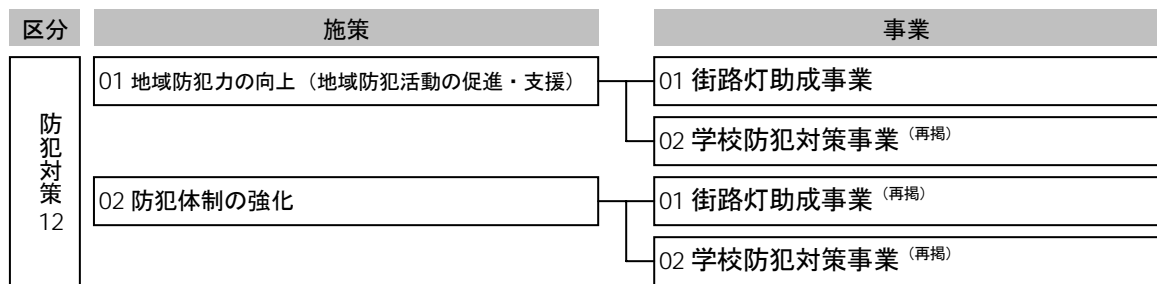
成果指標	実績値		見込み値		目標値		目標値 (H20~22)
	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度		
消火栓設置進捗率 (%)	97.7	98.0	98.7	99.3	100		100
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)				計画額合計 (H20~22)
	平成19年度		平成20年度	平成21年度	平成22年度		
	4,800		12,920	12,920	12,920	38,760	

1 2 防犯対策

施策の基本的考え方

- 犯罪や非行のない明るい社会を築くために市民一人ひとりの防犯意識の向上に努めるとともに、街路灯の経費助成を行うなど犯罪を誘発しない環境づくりに努めます。
- 関係機関との連携による防犯体制の強化に努めます。

施策・事業の体系



01 地域防犯力の向上（地域防犯活動の促進・支援）

■街路灯助成事業 【事業No.03120101】	担当部課係名	市民生活部	市民対話課	ダイヤル	237-5298
			地域振興係		

事業概要

- 防犯及び交通安全対策のために、自治会が街路灯を設置する際の経費の補助及び、街路灯の維持管理に要する経費の補助を行い、自治会負担の軽減を図り、安全で明るい地域社会の形成に寄与する。

現況と課題

- 設置費の補助率（補助限度額）の引き上げの要望がでていないもの、街路灯の設置数の増加及び電気料の料金改定（増額改定）により、設置費の増額の要望に応じられていない。

今後の事業展開

- 現行制度のまま引き続き事業を実施していく中で、設置費の増額の検討を行っていく。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値合計 (H20～22)
			平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	
—	—	—	—	—	—	—
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H20～22)
	平成 19 年度		平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	
	44,604		45,732	45,732	45,732	

■学校防犯対策事業 【事業No.03120102←No.02010501】再掲	担当部課係名	教育部	学事課	ダイヤル	223-7322
			学事係		

02 防犯体制の強化

■街路灯助成事業 【事業No.03120201←No.03120101】再掲	担当部課係名	市民生活部	市民対話課	ダイヤル	237-5298
			地域振興係		

■学校防犯対策事業 【事業No.03120202←No.02010501】再掲	担当部課係名	教育部	学事課	ダイヤル	223-7322
			学事係		

1 3 消費生活

施策の基本的考え方

- 消費者が自主的合理的に行動できるよう消費者の自立支援に努めます。
- 消費者に対し、消費者教育の充実に努めます。
- 消費者相談の充実に努め、適切かつ迅速な処理を進めます。
- 消費者モニター制度*の推進と正しい計量実施の確保に努めます。

施策・事業の体系

区分	施策	事業
消費生活 13	01 消費者利益の擁護及び増進	
	02 消費者教育の推進	
	03 消費者相談の充実	
	04 適正な計量の実施	

1 4 交通安全対策

施策の基本的考え方

- 関係機関との連携による交通安全意識の向上に努めます。
- カーブミラーなど各種交通安全施設の点検・整備、甲府市交通安全計画に基づく諸施策の推進に努めます。
- 交通災害共済への加入促進と交通事故相談体制の充実に努めます。

施策・事業の体系

区分	施策	事業
交通安全対策 14	01 交通安全意識の向上	01 交通安全対策事業
	02 交通環境の整備・向上	01 交通安全施設整備事業 02 自転車対策事業
	03 交通事故被害者の救済	

01 交通安全意識の向上

交通安全対策事業 【事業No.03140101】	担当部課係名 市民生活部	総務課	ガイライン	237-5303
		交通安全係		

事業概要

- 正しい交通ルールと交通マナーと交通安全意識の高揚徹底を図る。

現況と課題

- 65歳以上の高齢者が犠牲となる交通事故が年々増加している。このような状況において、交通事故防止を協力を推進する必要があり、市民一人ひとりが思いやりをもって、命の尊さを認識し交通安全に真剣に取り組むよう、更なる交通安全思想の普及と認識の徹底を図ってゆく必要がある。また、カーブミラー等の設置について、予算も限られているため設置申請から設置までの期間が長期化している。

今後の事業展開

- 山梨県や地元の警察署をはじめとする関係機関及び団体との連絡協議のもと春・秋の全国交通安全運動をはじめ、各種の交通事故防止事業等に参画するとともに、幼児、児童、小学校PTA及び高齢者を対象に交通安全教室を充実し、交通安全意識の高揚に努める。
- カーブミラー、自発光式交差点鏡の交通安全施設の整備も図っていく。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H20~22)
			平成18年度	平成19年度	平成20年度	
全県に対する甲府市内における 交通事故発生数の割合(%)	32.4	28	26	24	24	24
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H20~22)
	平成19年度		平成20年度	平成21年度	平成22年度	
	9,978		8,084	7,740	7,740	

02 交通環境の整備・向上

■交通安全施設整備事業 【事業No.03140201】	担当部課係名	都市建設部	道路河川課	ダイヤル	237-5843
			道路係		

事業概要

- 市民の交通安全の確保及び交通事故防止を目的に、甲府市が管理する道路における、交通安全施設の整備充実を図る。

現況と課題

- 交付金対象事業を主とするため、近年の交通違反件数減少により交付金の交付が減額傾向であるとともに、事業対象の範囲、規格が制限される。

今後の事業展開

- 市民生活における交通上の安全と快適性に貢献する事業として、交付金を活用し、交通安全担当や警察関係者とも協議を行ない、必要とされる交通安全施設設置を年次的に推進する。
また、道路の新設・改良等により道路案内標識の設置・変更が必要な箇所に、案内標識の設置・改良を行う。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H20~22)
			平成18年度	平成19年度	平成20年度	
交通安全施設の施工率(%) (設計金額/請負金額)	108	100	100	100	100	100
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H20~22)
	平成19年度		平成20年度	平成21年度	平成22年度	
	66,300		59,000	48,000	48,000	

■自転車対策事業 【事業No.03140202】	担当部課係名	市民生活部	総務課	ダイヤル	237-5303
			交通安全係		

事業概要

- 甲府駅周辺及び中心商店街の放置自転車を解消し、街の景観保全や通行者の通行障害を解消する。

現況と課題

- 市民に対する駐輪マナーの徹底と美観保護に関する意識改革を図るとともに、駐輪場の整備を徹底して、放置自転車等の実態を定期的に把握し、長期放置自転車の撤去を行う。また、新たな駐輪場の供用開始に伴い、円滑な利用対策を講じて行く。

今後の事業展開

- 新都市拠点整備事業により、平成19年10月に屋内式2階建・収容台数 約1,000台の甲府駅北口駐輪場が供用開始となった。現在の駐輪場と合わせ、駐輪場利用促進対策を図っていく。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値合計 (H20~22)
			平成18年度	平成19年度	平成20年度	
1日平均の放置自転車の台数 (台)	1,165	1,000	900	800	800	2,500
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H20~22)
	平成19年度		平成20年度	平成21年度	平成22年度	
	4,594		4,591	4,431	4,431	